

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

神経疾患における血中 GDF-15 値の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科

【研究責任者】 宮上紀之（薬物療法・神経内科）

【研究の目的】

過去に当科を受診された神経疾患患者さんの情報を収集し、血中 GDF-15 値と疾患および臨床症状の検討を行うことといたしました。この研究は血中 GDF-15 測定に対する有効性の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2010 年 1 月から 2019 年 4 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された神経疾患を有する患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料） 通常の診療で使用した後に残った試料（血液など）

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科 宮上紀之

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科 宮上紀之

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5095